

自利・利他の心で積極的にチャレンジを

平成22年度卒業式

3月1日（火）平成22年度第46回卒業式を挙行了しました。
県教育委員会、育友会、同窓会の代表の皆さん他、多くの来賓の出席を得て、今年度の卒業生を送り出しました。

学校長は、「心豊かな生き方で社会との絆を大切にすること」や「人を救う利他の精神と自分も立派になる自利の心をもって立派な社会人になってほしい」と卒業生に最後の式辞を行いました。生徒会長大野剛輝君の送辞にこたえ、機械科榎本友輝君が文化祭やクラブ活動での体験を語り、後輩の皆さんに「夢をあきらめずに頑張ってもらいたい」と答辞を述べました。

式典の後には、いきものがかりの曲に乗せて、3年間の思い出を綴った写真とコメントを編集したスライドが上映され、保護者、在校生、職員の大きな拍手の中、学舎を巣立っていきました。

卒業おめでとうございます。



卒業式で賞状授与

高等学校工業教育技術優良者

皆勤賞

卒業に際し、3年間皆勤賞及び和歌山県高等学校工業教育技術優良者にかかる賞状授与を行いました。3年間のがんばりに敬意を表します。

皆勤賞 機械科 井戸渉馬 三宅良典
電気電子科 大江章吾 栗山征士 武田侑也
羽竹邦彦 山ノ内達也 山本 駿
情報システム科 谷 昂希

県高等学校工業教育技術優良者

県知事賞 上岡洋平（電気電子科）

工業部会長賞 山本 駿（電気電子科） 中松 慧（情報システム科）



東日本大震災義援金に

175,214円を寄付

3月11日東日本で発生した巨大地震による被災者の支援を目的として、本校生徒会が全校生徒及び職員に呼びかけ、支援募金を訴えました。翌週には支援金として175,214円が集まり、22日に地元紙紀伊民報を通して、日本赤十字社に寄付しました。

24日修了式の直前には、この震災で失われた尊い命に哀悼の意を表し、全校生徒及び職員による黙祷を行いました。



3月16日 「愛の苑」「真寿苑」で交流学習

電気電子科2年A組の生徒が、近隣の特別養護老人ホーム「愛の園」と「真寿苑」を訪れ、それぞれの担当者から説明を受けたあと、老人介護について体験的な学習を行いました。車いすの取扱いや清掃との補助、歌の披露も行いました。

